

夜行快速「ムーンライト」

1. 「ムーンライト」とは

「ムーンライト」は、JRが運行する臨時夜行快速につけられる愛称のことです。「ムーンライト」は直訳すれば「月の光」となるため、夜のイメージとつながることからこのような列車名となりました。ちなみに、同じような名称として、1953年～1975年(1964年は運行なし)に運行された夜行急行「月光」があります。なお、「ムーンライト」は現在すべて廃止されています。

本稿では、夜行快速「ムーンライト」について、「ムーンライトながら」を中心に研究しました。最後までご覧いただければ幸いです。

2. 「ムーンライト」の名称のついた列車一覧

列車名	走行区間
ムーンライトながら	東京～大垣
ムーンライト仙台	東京→仙台
ムーンライト東京	仙台→東京
ムーンライト松島	上野→仙台
ムーンライト横浜	山形→大船
ムーンライト山陽	京都～広島・下関
ムーンライト八重垣	京都・大阪～出雲市
ムーンライト高知	京都・大阪～高知
ムーンライト松山	京都・大阪～松山
ムーンライト九州	京都・新大阪～博多・熊本
ムーンライトえちご	新宿～新潟・村上・新井
ムーンライト信州	新宿～上諏訪・白馬

3. 「ムーンライト」発展の歴史

1986年	新宿～新潟に団体臨時快速「ムーンライト」運行開始。夜行高速バスに対抗するために試行。
1987年	「ムーンライト」が定期列車に昇格
1988年	新大阪～広島に「ムーンライト山陽」運行開始
1989年	「ムーンライト高知」「ムーンライト九州」「ムーンライト八重垣」運行開始
1995年	「ムーンライト松山」運行開始
1996年	東京～大垣間の夜行普通列車(通称「大垣夜行」)が車両老朽化のため特急用車両に変更&座席指定制に。その際、座席予約システム「マルス」にて列車を識別させる必要があり、「ムーンライトながら」の愛称となる。
1996年	「ムーンライトながら」運行開始と同時に、誤乗防止や呼称の使用法を統一する観点から、「ムーンライト」が「ムーンライトえちご」に

	改称。
2002年	急行「アルプス」不定期化・快速格下げ、「ムーンライト信州」に
2003年	「ムーンライト東京」運転開始(年末年始は「ムーンライト松島」として運行)
2004年	「ムーンライト東京」の下り列車は「ムーンライト仙台」に改称 1年限りで「ムーンライト横浜」が運転

4.ムーンライトながら

(1)「ムーンライトながら」とは

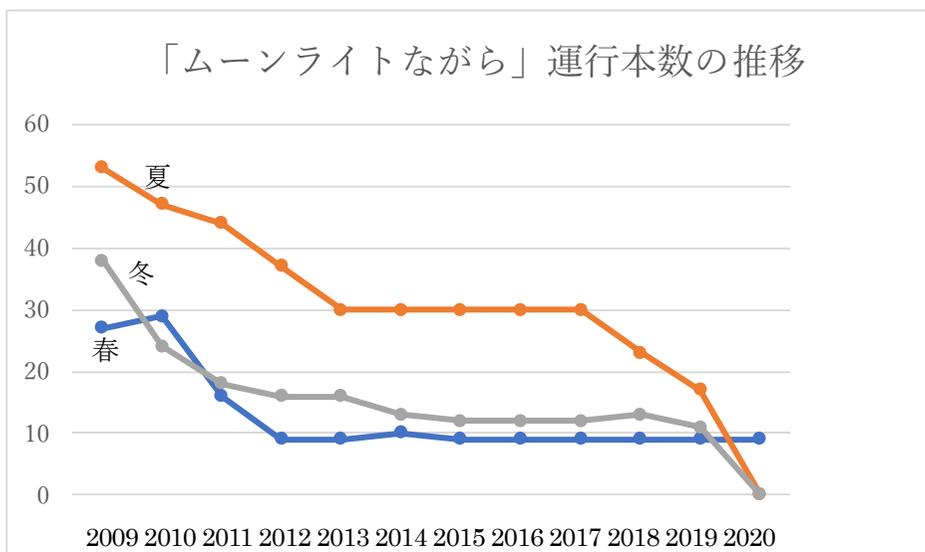
「ムーンライトながら」は、東京～大垣間を結んでいた夜行快速です。比較的乗客の多い東海道本線を通ることから非常に人気で、発売直後に完売することもよくありました。列車名は、西岐阜～穂積間で渡る長良川にちなんでいます。

(2)「ムーンライトながら」の歴史

1968年	臨時急行「ながら」を普通列車化するかたちで、東京～大垣間のいわゆる「大垣夜行」が誕生する(「ムーンライトながら」の前身) (当時下り列車は美濃赤坂行きでしたが、翌年から大垣行に変更)
1996年	大垣夜行を指定席・快速列車化し、特急用車両(373系)を使用した「ムーンライトながら」が運行開始 (理由としては、混雑の緩和・短距離利用者と長距離利用者の分離・長距離利用者の着席確保などがあげられる)
2007年	全席禁煙化・停車駅の削減が行われる
2009年	需要の減少などにより、運行日が繁忙期のみとなり、臨時列車化される。これとともに、停車駅もさらに削減されたほか、使用車両も185系に変更となる。
2020年	新型コロナウイルスの影響により、運転が見合される
2021年	廃止が発表される

(3)「ムーンライトながら」の廃止

1996年の運行開始当初は定期列車として運行されていましたが、2009年に臨時化され、春・夏・冬のみ運行されていました。そんな「ムーンライトながら」ですが、臨時化された後もどんどん運転日が減少し(次ページのグラフ)、2021年3月のダイヤ改正で、新型コロナウイルスによる乗客の減少・車両の老朽化などにより正式に廃止となりました。このニュースは全国的に話題となったため、鉄道好きでなくてもご存じの方は少なからずいらっしゃるのではないのでしょうか。



↑筆者作成

(4)廃止の理由

廃止された理由としては、以下の2つが挙げられます。

① 新型コロナウイルスによる乗客減少

このご時世ならではの問題です。「ムーンライトながら」は、新型コロナウイルスの感染対策、および需要減少のため、2020年度の夏から運行が取りやめられていました。この流れで、自然消滅してしまいました。

② 採算がとれない

先述の通り、「ムーンライトながら」は非常に人気の列車で、座席がすぐに完売してしまふこともありましたが、それなのに採算が取れないのには、青春18きっぷを利用する人が多くいることが挙げられます。青春18きっぷは、12050円で5日間(1日あたり2410円)、全国のJR線の普通・快速が乗り放題となる切符ですが、夜行快速にも乗車できるので、この切符を利用する人が多く、採算がとれなくなったということです。

また、指定席券が530円なのに対しキャンセル料が340円と、差が少ないことから、面倒だからキャンセルの手続きをしない人が多いほか、1人での利用でも4人席すべて予約したりするなどといったこともあり、実際には空席が多くなっていたことも問題となっていたそうです。

また、運転休止などではなくきっぱりと「廃止」となった理由として、車両の老朽化なども挙げられます。

(5)停車駅(廃止時のもの)

東京—品川—横浜—小田原(下りのみ)—沼津—静岡—浜松—豊橋(上りのみ)—名古屋—岐阜—大垣

運転停車は熱海・豊橋(下りのみ)・笠寺(下りのみ)・富士(上りのみ)・国府津(上りのみ)

(6)使用車両

使用車両は、定期列車時代は 373 系、定期列車時代の臨時列車には 183 系、臨時列車時代は 185 系が使用されています。ちなみに、大垣夜行時代には 165 系が充当されていました。

なお、座席夜行のため、どの車両にも寝台などの設備はありませんでした。



↑ 373 系



↑ 183 系



↑ 185 系



↑ 165 系

5.ムーンライト東京・松島・仙台・横浜

(1) 歴史

2003年夏	東京～仙台間で「ムーンライト東京」として運行（この際、舞浜駅で東京ディズニーリゾートのお客さんに乗せるため、東京～大宮間は京葉線・武蔵野線経由で運行）
2003年末	上野→仙台間を「ムーンライト松島」として下りのみで運行
2004年	上記と同じ時間&ルートで、上りは「ムーンライト東京」下りは「ムーンライト松島」として運行。 夏には、山形～大船間で運行されていた夜行列車「ゲレンデ蔵王」と同じルートで、「ムーンライト横浜」が大船行きのみ運行された。
2005年	上りが「ムーンライト東京」下りが「ムーンライト仙台」として運行

(2)停車駅

ムーンライト東京・松島・仙台

東京—舞浜—大船—郡山—福島—仙台

ムーンライト横浜

山形→面白山高原→仙台→白石→二本松→大宮→新宿→横浜→戸塚→大船

(いずれも宇都宮・白河・矢吹で長時間運転停車)

(3)使用車両

↓583系6両編成



←全席指定席で、当初は内3両のみが禁煙車でしたが、2007年以降は全席禁煙に

6.ムーンライト山陽

(1)歴史

1988年12月	新大阪～広島間で運行開始
1989年8月	京都～広島間に運転区間を拡大。このときから、後述の「ムーンライト高知」との併結運転開始。
1995年4月	後述の「ムーンライト松山」との併結運転開始。
2000年7月	運転区間を京都～下関間に拡大(山陽→USJへの輸送力拡大のため)
2007年7月	使用車両である14系を、「シュプール&リゾート」塗装に変更。

2005年6月	岡山駅改良工事のため運行休止。それに伴い、運行区間が重複かつ同様の車両を用いる「ムーンライト九州」(次回)を6両から8両に増結。 しかし、その後運行されることはなく、自然消滅。
---------	---

(2)停車駅

京都—新大阪—大阪—三ノ宮—神戸—明石—加古川—姫路—岡山—広島—宮島口—岩国—柳井—光—下松—徳山—防府—新山口—宇部—厚狭—下関

※下りのみ、貨物列車の退避のため有年駅に20分ほど停車(併結していた「ムーンライト高知・松山」も同じく)

(3)使用車両



↑EF65形電気機関車 「シュプール&リゾート」塗装14系。桃・青・白↑



↑京都方には、展望席とラウンジが1日おきに設けられました。

↑リクライニングはかなり大きく倒れたらしい

7.ムーンライト高知

(1)歴史

1989年8月1日	京都～高知間で運行開始
1989年8月7日	先述の「ムーンライト山陽」との併結運転開始。
1995年4月	「ムーンライト松山」との併結運転開始。
2009年1月	運行終了。(需要の低下や列車の老朽化に因る)

(2)停車駅

京都―新大阪―大阪―三ノ宮―神戸―明石―加古川―姫路―岡山―阿波池田―土佐山田―後免―高知

※「ムーンライト松山」との増解結のため多度津駅に運転停車

(3)使用車両

基本的には「ムーンライト山陽」と同じ(ただし塗装は異なる)



↑「ムーンライト高知」塗装14系。青色と水色

「ムーンライト高知」独走区間ではDE10形ディーゼル機関車が牽引↑

8.ムーンライト松山

(1)歴史

1995年4月	京都～松山間で運行開始
2009年1月	「ムーンライト高知」と同じ理由で廃止。

(2)停車駅

京都―新大阪―大阪―三ノ宮―神戸―明石―加古川―姫路―岡山―新居浜―伊予西条―今治―伊予北条―松山

※「ムーンライト高知」との増解結のため多度津駅に運転停車

(3)使用車両

「ムーンライト高知」と同じ(塗装も含め)

9.ムーンライト九州

(1)歴史

1989年12月	京都～博多間で「ふるさとライナー九州」として運行開始
1990年4月	冬季を除き列車名が「ムーンライト九州」になる
1991年7月～ 1993年7月	運転区間が京都～熊本間に延長される
2002年12月	冬季の名称も「ムーンライト九州」に統一
2005年7月	京都発着が新大阪発着に変更。6両編成から8両編成に。
2007年	運転日が繁忙期のみになる
2008年度冬	運行終了

(2)停車駅

(京都)―新大阪―大阪―三ノ宮―神戸―明石―加古川―姫路―岡山―厚狭―下関―
門司―小倉―戸畑―黒崎―折尾―博多

※糸崎・広島・徳山・千早・古賀・福岡・遠賀川などで運転停車

(3)使用車両



↑ 新大阪(京都)～下関間は EF65 形が牽引 ↑ 下関～門司間は EF81 形が牽引



↑ 門司～博多間は ED76 形が牽引 ↑ 客車は「ムーンライト山陽」と同じ

10.ムーンライトえちご

(1) 歴史

1960年台～	首都圏—新潟地区間の夜行普通列車運行開始
1972年3月	上り列車が廃止
1985年3月	下り列車も廃止（同年に開設された東京(池袋)—新潟間の高速バスと、翌年開業の上越新幹線の影響）
1986年6月・7月	上記の高速バスに対抗するため、「ムーンライト」として、試験的に運行開始。1か月間の運転だったが、好評を博す。（この列車が初めての「ムーンライト」と冠した列車である）
1986年10月・11月	「ムーンライト」が好評だったため、再び運転
1987年9月	「ムーンライト」の成功を受け、新宿～村上間で、週末・冬期休暇期間中などに運行開始
1988年3月	ダイヤ改正で定期列車化
1996年3月	愛称が「ムーンライトえちご」に変更 (同年愛称設定の「ムーンライトながら」と区別するため)
2002年12月	下り列車が新潟行きになる。
2003年3月	使用車両が165系から485系に変更(老朽化のため)
2004年3月	上り列車も新潟発になる
2007年3月	全席禁煙化
2009年3月	臨時列車に格下げ。多客期のみの運行に（前述の高速バスや新幹線の高速化、格安ツアーバスの進出など）
2010年～2012年	ダイヤの都合上、使用車両が485系から183系に
2014年春	「えちご春の夜空号」として運行
2014年夏以降	運行はなく、事実上廃止状態
2016年6月18日	E653系「スターライト上野号」が新潟～上野間で運転 (ただし「ムーンライト信州」復活の位置づけだったかは不明)

(2) 停車駅

新宿—池袋—大宮—高崎—長岡—(小出)—見附—東三条—加茂—新津—新潟

※新前橋・水上・越後湯沢で運転停車

※小出駅は、夏季の金曜・土曜、新宿発列車のみ停車(尾瀬への需要喚起のため)

(3) 使用車両

↓初代 165系(塗装は白地に灰・黄緑・黄) ↓2代 485系



↓2010~2012年 183系 「スターライト上野号」の653系1000番台↓



11.ムーンライト信州

(1) 歴史

1911年	飯田町(現:水道橋～飯田橋間)～名古屋間で夜行普通列車が運行開始
:	
1972年	夜行急行「アルプス」「たてしな」が運行開始 (アルプス山脈方面への登山客の需要が増加)
1993年	夜行普通列車運行終了
2002年12月	急行「アルプス」廃止。 快速に格下げするかたちで、新宿～白馬間で多客期のみ「ムーンライト信州」運行開始。
2018年12月	「ムーンライト信州」の最終運行
2019年8月	上諏訪～新宿間上りのみで、「諏訪湖花火大会号」が運転される

(2) 停車駅

基本：新宿—立川—八王子—大月—塩山—山梨市—石和温泉—甲府—竜王—韮崎—小淵沢—富士見—茅野—上諏訪—下諏訪—岡谷—塩尻—松本—豊科—穂高—信濃大町—神城—白馬

81号 新宿—立川—八王子—甲府—
 90号 新宿—立川—八王子—大月—甲府—
 91号 新宿—立川—八王子—甲府—
 92号 新宿—立川—八王子—大月—塩山—山梨市—石和温泉—甲府—竜王—葦崎

81号 ————富士見—茅野—上諏訪—下諏訪—岡谷—塩尻—松本—豊科—穂高
 90号 小淵沢—上諏訪
 91号 ————富士見—茅野—上諏訪—下諏訪—岡谷—塩尻—松本—豊科—穂高
 92号 小淵沢—上諏訪

81号 信濃大町—神城—白馬
 91号 信濃大町—神城—白馬

(3) 使用車両

↓ 189系



↓ 「諏訪湖花火大会号」の E257系



↓ 「急行アルプス」の 169系



Livedoor news (news.livedoor.com)より引用

12.さいごに

いかがでしたでしょうか。寝台特急や寝台急行などと同じく、夜行快速「ムーンライト」も、時代の流れに合わせて姿を消していきました。しかし、多くの人から人気があったのは事実です。臨時列車という形でもいいので、いつか復活してほしいですね。

それでは、最後までお読みいただきありがとうございました。引き続き「STATION」をお楽しみください！

13.参考文献

JR 東日本ホームページ www.jreast.co.jp

JR 東海ホームページ jr-central.co.jp

JR 西日本ホームページ www.westjr.co.jp

鉄道コム www.tetudo.com

中日新聞 Web www.chunichi.co.jp

朝日新聞 DIGITAL www.asahi.com

読売新聞オンライン www.yomiuri.co.jp

マイナビニュース news.mynavi.jp

鉄道ジャーナル 1989年10月号

JR 時刻表各号

特記のない写真はウィキペディア(ja.wikipedia.org)より引用